

# 気仙沼湾水質分析結果概要

○調査日時 令和5年8月3日

○概要

- 1) 水温：表層で24.2~26.5℃、底層で18.4~21.4℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で29.9~33.2、底層で33.1~33.5の範囲にあった。
- 3) pH：7.88~8.10の範囲にあり、全点で水産用水基準（7.8~8.4）を満たしていた。
- 4) COD：0.2~1.4 mg/Lの範囲にあり、全点で水産用水基準（閉鎖性内湾：2 mg/L以下）を満たしていた。
- 5) DO：5.8~9.6 mg/Lの範囲にあり、一部で水産用水基準（6.0 mg/L以上）を下回ったものの内湾漁場の夏季の水産用水基準（4.3mg/L以上）は満たしていた。
- 6) プランクトン沈殿量は4.4~22.1 ml/m<sup>3</sup>の範囲にあった。
- 7) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

リン酸態リン (PO<sub>4</sub>-P) : 1.8~23.5 µg/L

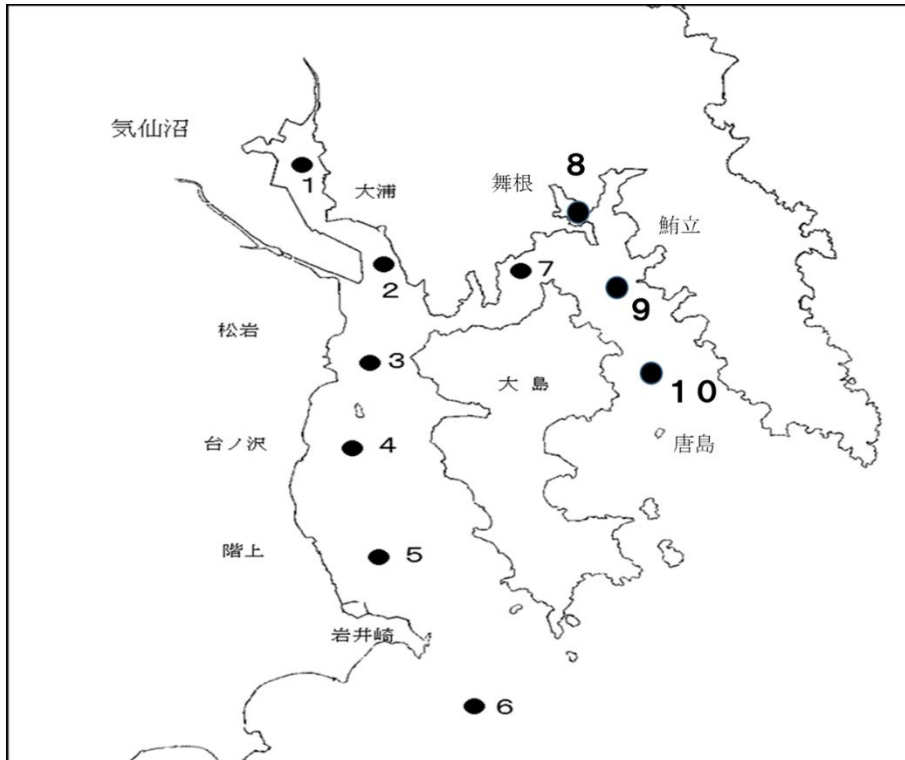
アンモニア態窒素 (NH<sub>4</sub>-N) : 0.2~39.5 µg/L

亜硝酸態窒素 (NO<sub>2</sub>-N) : 0.8~2.9 µg/L

硝酸態窒素 (NO<sub>3</sub>-N) : <0.1~45.3 µg/L

(三態窒素※ 0.8~60.6 µg/L)

※三態窒素とはアンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の合計です。



調査点図

